九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

街路空間における都市環境装置デザイン方法に関する研究

森田，昌嗣

https://doi.org/10.11501/3164564

出版情報：九州芸術工科大学，1999，博士（芸術工学），論文博士
バージョン：
権利関係：

目　次

序論　研究の目的と位置づけ

第１章　研究の目的と構成

１．研究の背景と目的 1
２．既往の関連研究 5
　2.1　街路空間・街路景観に関する都市的既往研究 5
　2.2　都市環境装置と街路空間との関係に関する既往研究 12
３．研究の方法および論文の構成 18
　3.1　研究の方法 18
　3.2　論文の構成 19
注・参考文献 22

第２章　都市環境装置の概念と類型化

１．本章の目的と構成 25
２．都市内構成要素の種類と分類上の問題点と課題 26
　2.1　公共整備の構成要素 26
　2.2　施設整備の構成要素 28
　2.3　都市整備における問題点 29
３．都市環境と構成要素の関係についての事例検討 31
　3.1　事例検討－その１：パリ市 31
　3.2　事例検討－その１：ニューヨーク市 33
４．都市環境装置の定義と概念 34
　4.1　都市環境装置の定義 34
　4.2　都市環境装置デザインの概念 35
５．都市環境装置の類型化 36
　5.1　空間系都市環境装置 36
　5.2　情報系都市環境装置 37
　5.3　時間系都市環境装置 38
注・参考文献 41

第１部　街路空間における都市環境装置の分布特性と行動特性，そして秩序化の可能性

―街路空間における都市環境装置デザイン方法に関する基礎的研究―

第３章　都市内主要街路の都市環境装置の分布特性

１．本章の目的 43

２．調査・分析の方法 43

2.1　調査・分析の内容 43

2.2　実態調査の対象地区および主要街路の選定 44

2.3　実態調査の方法 47

2.4　分析の方法 48

３．都市環境装置類の調査および分析結果 49

3.1　種類別平均基数街路比較 49

3.2　街路別分布比較 50

４．まとめと考察 65

4.1　結果のまとめ 65

4.2　街路の分布特性と都市環境装置デザインの関係 68

注・参考文献 75

第４章　都市内主要街路の空間形態・都市環境装置と行動特性の関係

１．本章の目的 77

２．調査・分析の方法 78

2.1　調査・分析の内容 78

2.2　実態調査の対象街路の選定 78

2.3　実態調査および行動観察調査・分析の方法 78

３．歩行空間における行動観察調査・分析結果 81

3.1　行動観察調査区域の選定 81

3.2　行動観察調査・分析結果 84

４．まとめと考察 92

4.1　歩道空間形態別の利用者行動の傾向 92

4.2　行動特性と配置特性 95

4.3　街路の行動特性・配置特性と都市環境装置デザインの関係 100

注・参考文献 105

第５章　情報系都市環境装置（公的サイン）の整理統合による秩序化の可能性

１．本章の目的 107

２．調査・分析の方法 107

2.1　調査・分析の内容 107

2.2　実態調査の対象地区および主要街路の選定 109

2.3　実態調査の方法 109
2.4　分析の方法 110
3．対象街路全体の公的サイン類の調査・分析結果 110
3.1　情報の分類 110
3.2　情報の区分と基数 113
3.3　調査対象街路別の情報の区分と基数 114
3.4　情報区分別クロス集計結果 116
4．対象街路全体の公的サイン類のまとめと考察 119
4.1　結果のまとめ 119
4.2　公的サイン類の分布上の問題点 120
5．公的サイン類区画別調査・分析結果 124
5.1　全情報分布比較 125
5.2　歩行者用情報分布比較 127
5.3　車用情報分布比較 140
5.4　共用情報分布比較 147
6．歩行者用公的サインシステム構築の方法に関する考察 150
6.1　公的サイン類区画別調査・分析のまとめと考察 150
6.2　歩行者用公的サインシステム構築の方法 151
注・参考文献 155

第2部　街路空間形成の秩序化と個性化のための都市環境装置デザインの役割と効果－街路空間における都市環境装置デザイン方法に関する事例研究－

第6章　街路内都市環境装置の整理統合による秩序化の役割と効果

1．本章の目的 157
2．本章の構成 157
3．モデル街路における整理統合の検討 158
3.1　整理統合の対象となる構成要素と都市環境装置の関係 158
3.2　整理統合の可能性についての検討 163
4．秩序化のための整理統合の方法－その1 165
～情報・空間活用のための共架による整理統合の方法～
4.1　共架の方法による都市環境装置の役割 165
4.2　共架のシステム化による都市環境装置の役割 166
5．秩序化のための整理統合の方法－その2 170
～整理統合による秩序化から個性化への展開～
5.1　情報価値のための整理統合の方法とその役割 170
5.2　空間価値のための整理統合の方法とその役割 171
6．情報価値・空間価値における秩序化の方法に関する考察 175
注・参考文献 177

第７章　街路計画における都市環境装置の秩序化と個性化の役割と効果
ー街路空間における都市環境装置デザイン方法の提案ー
１．本章の目的 179
２．本章の構成 179
３．空間価値形成における都市環境装置デザイン方法の比較検討 181
3.1　環境特性の比較 181
3.2　空間系都市環境装置デザインの比較 184
４．情報価値形成における都市環境装置デザイン方法の比較検討 188
4.1　情報系都市環境装置の種類と分布に関する比較 188
4.2　情報系都市環境装置デザインの比較 188
５．時間価値形成における都市環境装置デザイン方法の比較検討 192
5.1　時間系都市環境装置の種類と分布に関する比較 192
5.2　時間系都市環境装置デザインの比較 193
６．環境価値形成と都市環境装置デザイン方法に関する考察 196
6.1　街路のコンテクストと都市環境装置デザインの関係 196
6.2　街路のコンテクストと格づけの役割 196
6.3　街路計画における都市環境装置デザインの役割と方法 197
７．街路空間における都市環境装置デザイン方法＝ S-I-T CIRCLE の提案 199
7.1　都市環境装置の類型化と環境価値との関係に関する考察 199
7.2　環境価値サイクル（S-I-T Values CIRCLE）の考え方 200
7.3　都市環境装置サイクル（S-I-T Series CIRCLE）の考え方
ー各系の都市環境装置デザイン方法と環境価値形成の関係ー 201
7.4　街路空間における都市環境装置デザイン方法＜ S-I-T CIRCLE ＞の提案 203
注・参考文献 206

終論　まとめ

第８章　研究のまとめ
１．研究のまとめ 207
２．今後の課題と展望 215

あとがき 217